

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

伊那市長 白鳥 孝

市町村名 (市町村コード)	伊那市 (20209)
地域名 (地域内農業集落名)	西春近 (上島・村岡・東方・上村・山本・小屋敷・城・宮ノ原・白沢・南小出・中村・下島・唐木・沢渡・南丘・柳沢・下小出・下村・井の久保・原・諏訪形・赤木・下牧)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 8月23日 (第 2 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

当地域では、地域を支えてきた農家の高齢化と世代交代が進む中、後継者不足、遊休農地の増加、農業所得の減少など多くの課題がある。これらの課題を解決していくために、持続可能な地域農業の在り方を検討する。

## 【地域の基礎的データ】

農業者:24経営体、団体経営体(法人・集落営農組織等)4経営体

主な作物:水稲、そば、白ネギ、アルストロメリア、肉牛

## (2) 地域における農業の将来の在り方

当地域では、持続可能な農業を推進するため、圃場条件に適合した農業経営を推進し、兼業農家や地域住民も含め、農業生産基盤の確保や経営承継支援に努める。農家所得向上のため、高収益作物である振興品目(白ネギ、ブロッコリー、アスパラガス、契約加工野菜等)の生産拡大や取組推進を進める。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	607 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	607 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大と担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
地域の農地所有者や農業をリタイア・経営転換する者、農地の集約化を図るために利用権を交換しようとする者は農地中間管理機構に貸し付ける。
(3)基盤整備事業への取組方針
特になし
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
子供の農業体験の場「青壮年部チャイルドファーム21」の活動やイベント等を通じて農業者と次世代の農業に対する理解を深め、地域全体で次世代の農業者や農業応援者の育成を推進する。また、畦畔の草刈り等について、地区住民全員を対象とした体制づくりを推進し、耕作放棄地対策を図る。新規就農希望者、農家子弟、兼業農家、家庭菜園、移住者や半農半X等、農業に携わることができる人の勧誘に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①西春近地域の環境を良くする会、猟友会と連携し、猪垣の保全・新技術の取組等を進める。
- ②米の特別栽培、有機栽培による地域の特色ある米の販売・地域ブランドの発信や環境保全型農業の研究に取り組む。
- ③スマート農業技術導入に向けた研究に取り組む。
- ⑤中山間地域を中心に、ぶどう棚の設置やブルーベリーの植栽を推進する。